

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公開番号】特開2003-304446(P2003-304446A)

【公開日】平成15年10月24日(2003.10.24)

【出願番号】特願2003-45862(P2003-45862)

【国際特許分類】

<b>A 6 1 B</b>	<b>6/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 0 6 T</b>	<b>5/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>H 0 4 N</b>	<b>1/407</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

A 6 1 B	6/00	3 5 0 M
G 0 6 T	5/00	1 0 0
H 0 4 N	1/40	1 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月3日(2006.2.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グレイ値画像のコントラスト強調バージョンを前記画像の多スケール表現にコントラスト増幅値を適用することにより発生する方法であり、

(a) グレイ値画像を分析して、前記画像の多スケール表現を提供すること、

(b) 多スケール表現に復元過程を適用することによって、スケール特定的変換関数が、予め規定された大スケールから復元過程の各連続する段階で挿入され、復元過程の次の段階の入力に供給される前に、復元過程の1つの段階の出力が、そのスケールに特定された変換関数によって変換されること、

2つ以上の連続スケールにおいてグレイ値の関数として該コントラスト増幅値の指定が前以て規定されており、該連続するスケールの各々用の該変換関数が該指定から導かることを特徴とする方法。

【請求項2】

該スケール特定的変換関数は、コントラスト増幅量を連続するスケールでのグレイ値の関数として指定するスケール特定的勾配関数のシリーズから導かれることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記スケール中の予め規定された大スケール用の勾配関数はグレイ値の関数として濃度を指定する予め規定されたグラデーション関数の導関数であることを特徴とする請求項2に記載の方法。